

# 山北営農だより 令和7年7月

TEL 75-1311 (営農購買)

## 【水 稲】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

中干し 効果 ① 無効分けつを抑える ② 根の活力を高める ③ 倒伏に強くする  
④ 田面を固くして秋のコンバイン等の作業性を高めるなど。

田面に軽くひびが入る程度を目安に、5日から1週間程度行います。(強い中干しはさける)  
土壌中に酸素を送り根の健全な生育を促します。茎数が1株20本を超えたら実施しましょう。

追 肥 中干しが終わると、追肥の時期となります。

※元肥一発肥料を使用した場合には追肥の使用の必要はありません。

幼穂の長さが2cm前後になった頃を追肥時期の目安にしましょう。

はるみ・キヌヒカリ 出穂15日前頃 化成肥料 17-0-17 12kg程度/10a

てんこもり 出穂20日前頃 化成肥料 17-0-17 18kg程度/10a

施肥時期の目安 (5月25日植えの場合)

はるみ・キヌヒカリ 7月22日前後 てんこもり 7月22日前後

葉色が濃い場合や茎数が多い場合は倒伏につながる為、追肥時期を遅らせ施肥量を減らしましょう。

出穂期の目安 (5月25日植えの場合)

はるみ・キヌヒカリ 8月6日頃 てんこもり 8月11日頃

病害虫防除 7月中旬～下旬

○紋枯病 リンバー粒剤 3～4 kg/10a 収穫30日前 2回  
又はモンカット粒剤 3～4 kg/10a 収穫14日前 4回

出穂30日前～10日前に、株元にかかるよう散布

○イネツトムシ パダン粒剤4 (劇) 3～4kg/10a 収穫30日前 6回 常発地区は必ず散布  
ニカメイチュウ 又はスミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100㍓ 収穫21日前 2回

○ヒメトビウンカ スミチオン乳剤 1,000倍 100ml/水100㍓ 収穫21日前 2回

※縞葉枯病の症状が出ている株を発見したら、株ごと抜き取り園外廃棄を行いましょ。

※中後期除草に使用する2, 4Dアミン塩について、有効分けつ終止期～幼穂形成期前まで、収穫60日前までとなっています。収穫前日数については十分注意しましょう。

### 斑点カメムシ類について

- ・イネカメムシは7月から水田に飛来します。発生を確認しましょう。(日中は株元に隠れるため朝に観察)
- ・イネカメムシは、他のカメムシと異なり、出穂期に不稔の被害が発生します。発生園では 減収・品質低下を招きますので除草・早期の薬剤散布を組み合わせる防除を徹底しましょう。

・出穂期～穂揃い期 1回目 (イネカメムシ発生している水田)

・出穂期の10日～14日後 2回目 (他の斑点米カメムシと同時防除)

※イネカメムシの発生している水田では斑点カメムシ類の防除に8月下旬以降に3回目の散布すると効果がより高くなる。

1回目	【イネカメムシ】7月下旬～8月上旬 (粒剤・液剤：出穂期)	スタークル粒剤(3kg/10a)	7日	3回
	【斑点米カメムシ】8月上旬～中旬 (粒剤：出穂7日後)(液剤：出穂10日後)	スタークル豆つぶ(250g/10a)	7日	3回
2回目	【イネカメムシ】8月中旬～下旬 (粒剤・液剤：出穂10日後)	エミリアフロアブル1,000倍 (60～150㍓/10a)	7日	2回
	【斑点米カメムシ】8月下旬～9月上旬 (粒剤：出穂21日後)(液剤：出穂24日後)	キラップフロアブル2,000倍 (60～200㍓/10a)	14日	2回

〈雑草管理〉 ○出穂前の畦畔の草刈りは出穂の10日前までに済ませましょう。

○出穂前の草刈後3週間程度で雑草が結実し始めます。1回目の防除後に直ちに畦畔の草刈りをしましょう。

○収穫前の畦畔草刈りは収穫期2週間前以降に行いましょう。

## 【温州みかん】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 7月下旬～8月中旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫30日前 4回

又はジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫30日前 4回

○カガラムシ類・チャバチダニ コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫前日 3回

○シカバグニ・シカバグニ メビウスフロアブル (劇) 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫7日前 2回  
アザミヤ類・シカバグニ

樹別摘果 (大津・青島)

裏年の樹は7月中旬に全摘果しましょう。表年の樹は、この時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。

## 【不知火・はるみ・湘南ゴールド】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 黒点病の防除が重要となってきます。必ず行いましょう。

6月下旬～7月上旬

○かいよう病 (単用散布) コサイド3000 2,000倍 50g/100㍓  
(薬害軽減のためクレフノン200倍 500g/100㍓を加用)

7月上旬～8月中旬

○黒点病 ペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫90日前 4回

又はジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫90日前 4回

○シカバグニ・シカバグニ メビウスフロアブル (劇) 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫14日前 2回  
アザミヤ類・シカバグニ

※昨年度、梅雨明け以降にサビダニが多発しました。

梅雨明け後、晴天が続く場合 メビウスフロアブル (劇) を必ず散布しましょう。

※カイガラムシ多発園は、コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/100㍓ 収穫前日 3回 を散布する。

摘 果

\*不知火・はるみは樹勢維持のため、生理落果が始まったら樹冠上部1/3から1/4を全摘果します。不知火は生理落果終了後に葉100枚に1果、はるみは7月下旬までに葉120枚に1果を目安に摘果します。

\*夏季に乾燥を受けると高酸になりますので、灌水や敷き藁を行い、過乾燥を防ぎましょう。

\*湘南ゴールドは7月20日時点で果実の横径が20mm以下(1円硬貨程度)と粗皮やス上がり果の発生しやすい表層成りの果実をシンニング(摘果)する方法が有効です。

## 【レモン】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 7月

○かいよう病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100㍓

黒点病 又はイデクリーン水和剤 500倍 200g/水100㍓ (薬害軽減のためクレフノン200倍加用)

7月下旬～8月中旬

○黒点病 ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100㍓ 収穫90日前 4回

○シカバグニ・アザミヤ類 メビウスフロアブル (劇) 3,000倍 33ml/水100㍓ 収穫14日前 2回  
チャバチダニ・シカバグニ

※昨年度、梅雨明け以降にサビダニが多発しました。

梅雨明け後、晴天が続く場合 メビウスフロアブルを必ず散布しましょう。

※コサイド3000、イデクリーン水和剤との混用は効果低減を招くのでしない。

※カイガラムシ多発園は、コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 収穫前日 3回を散布する。

※ジマンダイセンを散布できない場合は、キノンドー水和剤80 800倍 125g/100㍓ 収穫30日前 3回を散布する。

【う め】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 7月中旬～下旬

○黒星病・環紋葉枯病 トップジンM水和剤 1,500倍 66g/水100ℓ 収穫21日前 3回  
○モモヒメヨコバイ テッパン液剤 2,000倍 50ml/水100ℓ 収穫前日 2回

※ここ数年モモヒメヨコバイが7月に多発しています。発生すると葉の光合成能力の低下や早期落葉を起こして、樹勢の低下の原因となるため、必ず防除しましょう。

礼肥の施用 5月下旬～7月中下旬

(目的) 樹勢回復と翌年の花芽充実のため。一番重要な肥料なので、必ず施用しましょう。

梅配合 120kg/10a

【キウイフルーツ】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除 7月上旬

○果実軟腐病 ナリアWDG 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 2回  
○キウイヒメヨコバイ モスピラン顆粒水溶剤(劇) 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫7日前 3回  
カイガラムシ類

○カメムシ類発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100ℓ 収穫前日 3回

7月下旬～8月中旬

○キイロマイコガ フェニックスフロアブル 4,000倍 25ml/水100ℓ 収穫7日前 3回

夏季剪定 止め葉が出る6月中旬ごろより夏季剪定を実施し、棚下の明るさを維持しましょう。

\*晴天の日で、土の表面にところどころ日が射す程度

乾燥防止対策 梅雨明け後の乾燥に注意。敷き藁や灌水を実施し、土壌の乾燥を防ぎましょう。

【お 茶】 \*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。

病害虫防除

6月下旬～7月上旬

○輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 100g/水100ℓ 摘採14日前 2回

※剪定後、出来るだけ早く(3日以内)散布する。

7月中旬～7月下旬

○チャノミドリヒメヨコバイ コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 摘採7日前 2回

チャノキイロアザミウマ

チャトゲコナジラミ

※夏整枝後、2週間を目安に散布する。

①二番茶を摘採した場合の管理

整枝作業

整枝時期 二番茶摘採10日後を目安に、遅れ芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 二番茶の摘採面

※整枝を怠ると摘採面が不揃いになりやすく、来年の一番茶の減収を招きやすいので、必ず行いましょう。

②二番茶を摘採しない場合の管理

整枝作業

整枝時期 7月上旬を目安に、二番茶芽が出揃うのを待ってから行いましょう。

整枝位置 一番茶摘採面の2～3cm上で行いましょう。ただし、二番茶芽が病害虫の被害で

十分に生育しなかった場合は、一番茶摘採面より数cm下で整枝します。

\*整枝を怠ると芽数が少なくなり、株面の枝が不揃いになるため、来年の一番茶の減収を招くので、必ず行いましょう。

水稲栽培講習会の開催について ～夏の管理ポイントをつかむ!～

下記のとおり講習会を開催いたします。ぜひご参加ください。

1. 日時・会場 ※雨天決行

日付	時間	集合場所	備考
7/7 (月)	9:30 より	開成営農経済センター 倉庫前 (開成町吉田島 2000)	集合後、圃場へ移動します。
	13:30 より	福沢総合選果場 (南足柄市怒田 1332)	集合後、圃場へ移動します。
7/8 (火)	9:30 より	曾我みのり館 第2駐車場 (小田原市上曾我 2984)	集合後、圃場へ移動します。
	13:30 より	栢山地区 (小田原消防署栢山出張所付近)	直接会場までお越しください。駐車スペースが少ないので、乗り合わせや徒歩等でお越しください。 ※集合場所は地図参照
7/9 (水)	9:30 より	中井営農経済センター 倉庫前 (中井町比奈窪 68)	集合後、圃場へ移動します。

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員(水稲栽培者)

3. 内容 (予定 全日程共通) ①追肥について ②斑点米カメムシ対策について  
 ③その他(肥料・農業紹介 など)

※水田にて稲の観察をしますので、雨・暑さ対策を各自お願いします。

4. 講師 農業技術センター

5. 申込 7/2 (水) までに営農部営農指導課または最寄りの支店・センターまでお申込みください。

※全日程同じ内容ですので、希望する日程にご参加ください。

7/7 (月) 13時30分 福沢地区会場 (福沢総合選果場に集合後、移動します。場所が分かる方は直接現地でも構いません)



7/8 (火) 13時30分 栢山地区会場 (直接会場にお越しください。)

